

コロナ感染症から子どもと教育を守ろう！(21)

新型コロナウイルスに関する通知などの情報や、府高教のとりくみ、現場の声をお伝えします。

生徒をまるごと支援するために SSW、SCなど専門職拡充を

コロナ禍で生徒・家庭への支援は急務

この間の休業・自粛要請や、経済状況の悪化のもとで、子どもの育つ環境にも様々な形で重大な影響を及ぼしています。コロナ禍で経済的に困窮している生徒の就学を保障するため、学費等の免除を行うとともに、府として困窮家庭への経済的支援を行うことが必要です。あわせて、各学校がスクールソーシャルワーカー(SSW)やスクールカウンセラー(SC)などの専門職とも連携しながら、さまざまなアプローチ・手段で生徒を丸ごと支援することが求められています。各校の取り組みを支援するために、教育予算の増額が必要です。府高教は教育予算増を求め全力をあげるとともに、全教を通じ、国・文科省へも働きかけを強めます。



府立高校のSSW配置率は約35% いまこそ全校配置が必要！

府立高校では、SCについては全校配置が実現していますが、SSWについては、今年度、府立高校全体の約35%にあたる56校に配置されています。エンパワメントスクール及び定時制・通信制(桃谷I・II・大阪わかば含む)には全校、大阪府の事業で6校配置される他は、各校の要望により校長マネジメント予算によって導入されたり、時間数の加算が行われたりしています。しかし、各学校がSSWの配置を必要とするなら、校長マネジメント予算に頼るのでなく、大阪府として責任を持って配置すべきです。また、これまでに配置されていた学校でも、この間、配置時間数削減が進んでいます。いま全校への緊急配置などの対応が必要です。引き続き、教育予算の増額に向けて全力をあげます。

府立学校SSW配置状況(府高教調べ)

エンパワメントスクール	8校
定時制通信制	18校
校長マネジメント	23校
府立中学校	1校
その他の事業	6校
支援学校	5校

自宅待機や登校自粛の生徒のためにオンライン学習を準備。学習の保障はもちろん最大限行いたいけど、通常の対面授業とオンライン準備は物理的に限界がある！府教委は言いっぱなしでなく機材配備、人員増など責任を持ってほしい。

(和泉支部Dさん)

学校現場の要求が前進！ 寝屋川市の独自施策拡充

- 定期PCR検査
 - 教職員のワクチン接種
(市外在任教職員も対象)
 - 小中学校の夏季感染対策
気化式冷風機(最上階の教室各1台)
簡易型クーラー(体育館に2台)
 - 児童・生徒への生理用品の無償配布
- 「ねやがわ市教組ニュース5/21号」より

みんなの声
で実現！

現場の状況、声を届けてください osakafuko@kind.ocn.ne.jp

「仕方がない」をみんなで変える！あなたも府高教へ！